【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成21年7月30日(2009.7.30)

【公開番号】特開2009-61643(P2009-61643A)
【公開日】平成21年3月26日(2009.3.26)
【年通号数】公開・登録公報2009-012
【出願番号】特願2007-230575(P2007-230575)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　2/44　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　2/45　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　2/455　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/04　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　51/50　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　3/21　Ｌ
Ｇ０３Ｇ　15/04　１１１
Ｈ０５Ｂ　33/14　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成21年6月17日(2009.6.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５０】
図５（Ｂ）は、前記図５（Ａ）の選択ライン（Ｖｓｅｌｅｃｔ）とソースライン（Ｖｓｏｕｒｃｅ）、及びデータライン（Ｖｄａｔａ）の内容に応じた駆動ＴＦＴ６２に対する駆動電圧波形を示す。選択ライン信号Ｖｓｅｌｅｃｔが選択期間Ｔｓｅのタイミングで選択ＴＦＴ６１をオンにすると、データライン信号Ｖｄａｔａが保持キャパシタ６３に書込まれ、同時に駆動ＴＦＴ６２をオンにする。そのとき、保持キャパシタ６３に書込まれたデータライン信号Ｖｄａｔａの値に対応して選択ＴＦＴ６１のゲート電圧Ｖｇｓが次式
Ｖｇｓ＝Ｖｄａｔａ－Ｖｓｏｕｒｃｅ
で決まるため、駆動ＴＦＴ６２の導電率が定まる。この駆動ＴＦＴ６２の導電率に応じた電流が有機ＥＬ素子２０に流れることになる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６０】
そして、図７（Ｂ）は、理想的なレンズ構成を有するロッドレンズアレイを介して発光体２０Ａの瞬間的な発光によって感光体ドラム１の周表面上に形成されるビームスポットの形状を示すものであり、図７（Ｄ）は、実際のロッドレンズアレイを介して発光体２０Ａの瞬間的な発光によって形成されるビームスポットの形状を示すものである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６２
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００６２】
一方、実際のロッドレンズアレイを介して発光体２０Ａの瞬間的な発光によって形成されるビームスポットの形状は、上述したようなロッドレンズアレイの各レンズ間の光学特性のバラツキにより、例えば図７（Ｄ）に示すような、主走査方向の幅はＬ、副走査方向の幅はＭであるが、歪みを生じたものとなる。